

## 特定非営利活動法人

## 生活バス四日市

URL : <https://www.rosenzu.com/sbus/>

## 活動紹介

- 活動場所 : 四日市市内（羽津、大矢知、垂坂、大谷台）
- 活動日、活動頻度等 : 月～金曜日の5日間
- 活動内容など

三重交通バス垂坂線が利用者減少による赤字路線として、平成14年5月末で廃止となりました。その対策として、従来の公共交通運営の仕組みとは異なり、地域住民が主体となり、地域企業等の協力を得ながら、地域が求める公共交通を自分たちの手で企画・運営し、有料路線バスを走らせています。全国で初めてのNPO法人「生活バス四日市」は「買い物と通院」という利用目的を重視しています。運行コースは、近鉄霞ヶ浦駅から郊外にある「スーパーサンシ大矢知店」まで直線距離で約4kmのところを、これまでバスが走らなかった住宅地域をジグザグに走り、生活に密着した商店、病院、銀行、郵便局、介護施設、市民センターなどを経由しながら、約11.5kmの区間に35カ所のバス停留所を設置し、座席数22人乗りバスで、4往復しています。旧路線の利用者は1日平均25～30人でしたが、平成15年の新路線運行時は65～70人となり、平成22年ごろの最盛期には100人を越える乗車がありましたが、近年環境の変化（コンビニなど商店の増加、利用者の高齢化、高齢運転者の増加など）、新型コロナウイルスの影響などによって、利用者は50人ほどに減少しています。

## 代表者の想い

生活バス四日市は住民主体のNPO法人であり、携わる住民のボランティア精神による活動・沿線事業者さんの地域貢献としての協賛金・運行事業者さんの低コストでの協力・行政からの補助金・運賃収入など、役割分担（コラボレーション）によって、支えられています。地域住民が主体となり、生活バスを運営し、高齢者や車を運転できない人の移動手段を確保する（公共交通との融和）ことによって、地域の新たな公共交通ニーズを開拓し、もって、バスを活用した地域活性化（地域づくり）と福祉の増進を図ることが出来ます。結果として介護予防、人権保護、地球温暖化対策に寄与出来ると思い、19年間活動を行ってきて当初の目的は達せられたと思っておりますが、このバスはSDGs（持続可能な開発目標）の理念に即した移動手段であり、さらに発展させたいと思っております。

## PR

特に高齢者からは「家族に気兼ねなく通院や買い物に行ける。」さらには「バスに乗ることで、家に閉じこもることなく、お話も出来、友達も増える」と喜ばれており、当初の目的の一つである、「動く宅老所」が出来たと思っております。生活バスを利用していただくために活動しております。たくさん乗っていただくことが活動のエネルギーとなり、バス存続と発展になりますので、企業様からの協賛金のご協力と、「乗って残そう生活バスよっかいち」と近隣の皆さんへお声がけをいただきたく、よろしく願いいたします。

